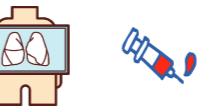
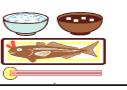


腹腔鏡下腎摘除術（金曜日入院・月曜日手術）を受ける患者さんへ

【患者さん用クリニカルパス】

ID: 患者氏名:

さん

	入院当日	手術2日前	手術前日	手術当日		術後1日目	術後2日目	術後3日目～5日目	術後6日目～9日目（退院）
	月 日	月 日	月 日	手術前	手術後	月 日	月 日	月 日～ 月 日	月 日～ 月 日
目標	入院から退院までの経過がわかる。 心身ともに手術を受ける準備ができる。	手術までの経過がわかる。 痛みのコントロールができている。 手術創に出血や感染がない。					退院後の過ごし方がわかる		
説明指導	看護師より入院中のオリエンテーション（説明）を行います。 	医師から手術の説明を行います。 承諾書、輸血同意書にサインしていただきます。 看護師より手術のオリエンテーションを行います。		ご家族に医師から手術後の説明をします。		なるべく早期に歩いたほうが回復が早まります。 痛い時は我慢しないで教えて下さい	1日に1000～1500mLの尿量を目安に、1500～2000mLの水分を摂りましょう。 (夕食後からは控えめに)		退院時指導を行います。 (①塩分を摂りすぎないようにしましょ う②水分摂取を行いましょう③規則正しい生活を行いましょう④喫煙歴がある場合、禁煙をしましょ う⑤血尿がみられたら受診しましょ う⑥定期的に受診し異常時はすぐに連絡しましょ う)
治療処置点滴	午後から麻酔科の診察があります。			手術中から点滴が続きます。	点滴を行います。10時と16時に抗生素の点滴をします。点滴が終わったら点滴の管を抜きます。				
検査				血液検査、レントゲンがあります。					
内服	現在飲んでいる内服薬の確認をします。 内服薬は基本的に継続内服とします。 (中止する薬がある時は説明します。)	20時にマグロールP 21時にセンノシドという下剤を内服します。	術前に常用薬を指示通り内服します。		水分摂取開始後、医師の指示により内服薬を再開します。				
生活行動安静度	特に制限はありません 		時頃、主治医・看護師と手術室へ移動します。それまで病室で安静にしていただきます。	ベッド上で安静にしていただきます。 下肢の静脈血栓予防のためフットポンプで足のマッサージをします。	歩行ができるようになります。初回歩行は看護師が付き添います。	特に制限はありません。 			
排泄			時頃、浣腸をします。	手術室で尿の管とお腹に管が入ってきます。	医師の許可が出たら、尿の管とお腹の管が抜けます。				
清潔	シャワー浴ができます。 		病衣を来て医師・看護師と一緒に手術室に行きます。	体を拭きます。 	お腹に管が入っている間は体を拭きます	お腹の管が抜けたらシャワー浴ができます。 			
食事	基礎疾患(糖尿病・高血圧など)に応じて、治療食をお出しすることもあります。手術前日夕まで低残渣食になります。 手術に向けて夕食後は何も食べないでください。 水分を飲むことはできます。 	何も食べられません。 時以降水分を飲むことができません。	水分を摂ることはできません 医師の許可が出たらお腹頃より水分を飲んでいただきます。	医師が診察し許可が出たら食事が開始となります。お粥から徐々に米飯になります 	約1ヶ月はアルコール類や刺激の強い食品は避けましょう。				
その他		付き添いは必要ありません。	痛みや気分不快がありましたら看護師にお知らせください。		退院後に異常がありましたらすぐにご連絡ください。				

注) 予定は現時点で考えられるものであり、今後検査等を進めていくにしたがって変わることがあります。

岩手医科大学附属病院

泌尿器科